

「グリーン・キャンパス創造計画」(環境保全・市ヶ谷・多摩共通)実施報告書  
(2010年4月～2011年3月)

環境目的	No.	環境目的・目標の手段	実施状況			今後の実施計画・備考
			実施日	概要	参加人数	
<b>省資源の推進に関する事項</b> 目標値は、推定使用量の1%減とする。	1-1	・コピー、リソ、OA用紙の使用量管理を行う。  ・使用量抑制のための啓発活動を行う。特に、教員への啓発を行う。	7/7	① 資源・リサイクル小委員会開催(第一回)	8名	
			10/26	② 資源・リサイクル小委員会開催(第二回)	8名	
			11/8-12	③ 第11回環境展		
			10/29	④ 2010年度目標値公開 コピー・リソ・OA用紙使用量公開(2010.4~9) パフォーマンスチェック票提出依頼(第一・二四半期)		
<b>省資源の推進に関する事項</b> 市ヶ谷・多摩キャンパスの大学の発行物の非紙媒体化を促進し、実践例を公開、周知する。	1-2	・電子メール、管理情報システム、授業支援システムなどの積極的活用を推進する。  ・非紙媒体化の啓発活動を行う。	3/	① ISO運用管理アンケート公開		
<b>省エネルギーに関する事項</b> 市ヶ谷・多摩キャンパスのエネルギー使用量(電気・ガス・重油(市ヶ谷)・灯油(多摩))について、基準使用量の1%削減。	2	・照明装置の使用管理(屋内外とも) ・冷暖房装置の運転管理 ・その他の電気器具の使用管理(コピー機、PC、湯沸かし器など) ・エレベーターの利用管理(上がり1階、下り2階は階段)利用を心がける ・ESCO事業の運営 ・「チャレンジ25キャンペーン」活動の推進(市ヶ谷キャンパス) ・屋上緑化事業 ・ロゴライトアップ時間(20~22時)の維持(多摩キャンパス) ・警備員が巡回する19時に未使用教室を消灯する ・イルミネーション点灯時間(12月1日~1月末)の維持 ・休暇中など学生が登校しない期間は自販機の稼働台数を減らすことを関係業者に要請する ・都環境確保条例への対策・検討をエネルギー・温暖化対策小委員会メンバーで継続的に行う	5/14	① エネルギー・温暖化対策小委員会開催(第一回)	9名	
			6/1-9/30	② 省エネポスター掲示(夏季)		
			7/9	③ エネルギー・温暖化対策小委員会開催(第二回)	7名	
			11/1	④ 省エネポスター掲示(冬季)		
			10/28	⑤ エネルギー・温暖化対策小委員会開催(第三回)	10名	
				⑥		
<b>グリーン購入に関する事項</b> 学内外印刷について、用紙の使用状況を調査する。	3-1	・学内外印刷での再生紙利用、グリーン購入等を啓発するポスター等を作成し、周知徹底する。	①			
			②			
			③			
			④			

<p><b>グリーン購入に関する事項</b></p> <p>2009年度に引き続き、「グリーン購入ガイドブック」を環境省冊子「環境物品等の調達に関する基本方針」に準じて更新する。購入状況を調査し、公表する。</p>	3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省冊子「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」を参考資料として掲示板に掲載する。</li> <li>グリーン商品(消耗品)に関する調査(カタログ更新)</li> <li>グリーン購入ガイドブックの更新と同ガイドラインの周知</li> <li>利用に関する学内調査</li> </ul>	4/19	① グリーン購入ガイドブック公開		
<p><b>グリーン購入に関する事項</b></p> <p>消耗品について、参考値として購入状況の集計を行う。</p>	3-3			①		
<p><b>(廃棄物の抑制と再資源化の推進に関する事項)</b></p> <p>市ヶ谷・多摩キャンパスから排出される一般廃棄物排出量(学生一人あたりの排出量)について、基準値(2009年度)をベースに推定学生数を考慮し20108年度で二%(二年年累積4%)を削減する。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の徹底(学生・教職員・業者等)</li> <li>有価物の再資源化の促進</li> <li>リユース情報の公開</li> <li>機密性の高い文書の処理の取りまとめ</li> </ul>	7/7	① 資源・リサイクル小委員会開催(第一回)		
			5/27	② ゴミ分別体験(教職員・学生)	20	
			10/1	③ ゴミ分別体験(エコ・マネージャー)	20	
				④		
				⑤		

(2011年3月31日現在)

環境保全統括本部長	環境センター